

関係各位

雑誌広告デジタル送稿推進協議会  
JMP A カラー管理委員会

2013年5月17日

## 『JMPA カラーV3.00 における運用プロファイルについて』

平素より 雑誌広告デジタル送稿推進協議会の諸活動にご理解、ご協力いただき厚く御礼申し上げます。

さて、JMPA カラーV3.00 のリリースから1年半が経過し、JMAP カラーV3.00 運用も順調に推移しておりますが、昨今のエコ事情を反映しインクジェットでの運用が増加しております。

そこで、JMPA カラー管理委員会では、JMPA カラーV3.00 準拠のインクジェットで出力されたプルーフと、ベンダーキット画像との色の一致性について、目視による品質評価を実施いたしました。

その結果、ベンダーキット同梱のリファレンスサンプル画像とインクジェットプルーフ出力画像の品質においては、条件等色(メタメリズム)による色の見え方が、異なることが判明致しました。(JMPA カラーV3.00 の運用は、測色数値より、印刷物の色評価用標準観察環境での目視評価に重点を置かれております)。

実際には、セピア、モノトーン画像での目視による色のズレが確認されております。インクジェットプルーフは、インク、材料(紙)ともに印刷材料とは特性が異なり、条件等色の影響を受けやすい傾向にあります。JMPA カラーV3.00 をインクジェットプルーフで運用されているお客様におかれましては、上記結果を考慮し、標準光源環境下での目視による色一致を図るべく、プロファイル調整を実施していただくことを推奨いたします。

※JMPA カラーV3.00 運用での印刷色の評価環境は、雑誌デジ送ナビ内の以下をご参照下さい。

[http://www.3djma.jp/kiso\\_03\\_07.html](http://www.3djma.jp/kiso_03_07.html)

以上